

教育改革

議案第55号 戸田市未来の学び応援基金条例

日本の教育改革のモデルを目指すための基金を設立

学校主体による夢のある教育改革など、教育日本一の実現に向けたさらなる取り組みに必要な経費を寄附などで募り、年度を越えて機動的に運用できるよう基金を設立するものです。

原案可決（賛成22人 反対3人）

反対

どれだけ集まるか分からない基金ではなく一般会計の予算として計上すべき

花井 伸子 議員

本基金の設立目的である「夢のある学校改革に取り組む」との趣旨には大いに賛成であり応援したいが、それであれば、現段階でどれだけ集まるか分からない基金ではなく、一般会計予算として計上すべき。課題が山積する教育現場において、お金集めではなく、課題解決への取り組みに力を入れてほしい。日本の教育改革モデルというならば、少人数学級で目の行き届く教育や誰一人取り残されない教育を求める立場から反対する。

賛成

義務教育の機会均等などの観点から実施すべき施策と明確に区別されている

浅生 和英 議員

本基金は、先進的と評価されている本市の教育改革をさらに次の段階に押し進め、基本理念に脱・正解主義などを掲げ、他自治体にはない未来の学びを示したものである。本基金は、義務教育の機会均等などの観点から実施すべき施策と明確に区別され、必要な予算は確保していくものであり、本基金のような意欲的な取り組みを止める理由にはならない。教育現場の柔軟な取り組みをベストなタイミングで応援し実現する画期的な基金であると考え、賛成する。

健康増進

議案第63号 令和4年度戸田市一般会計補正予算（第6号）

キッズ健幸アンバサダー養成講座を実施

健康におけるスポーツの大切さを伝え、一緒にスポーツをすることで健康増進を図る「キッズ健幸アンバサダー[®]」を養成するものです。

Q 養成講座の詳細は。

A アンバサダーの役割などについての講義やオリンピックなどによる実技指導、健康におけるスポーツの大切さを効果的に伝える方法などを学び、講座終了後にはキッズ健幸アンバサダー認定証が授与される。



請願

令和4年請願第1号 2023年10月開始のインボイス制度に関する請願

インボイス制度^{*}に関する請願は不採択

不採択（採択3人 不採択22人）

賛成

- ①さまざまな業種で働く人が廃業などに追い込まれかねない
- ②日本経済をこれ以上冷え込ませることはあってはならない

むとう 葉子 議員

請願者は、本制度により①平均収入の低い人たちが納税者になる②利益にならない手間が増える③多様な働き方を阻害することを指摘し、さまざまな業種で働く人が廃業などに追い込まれかねず、制度導入の中止を訴えている。また、全国商工会議所も本制度の導入延期を求めている。社会保障による「所得の再分配」が国の役割であり、その財源は「応能負担」であるべきで、日本経済をこれ以上冷え込ませることはあってはならないと考え、本請願に賛成する。

陳情

今定例会では2件の陳情が提出され、委員会にて審査された結果、いずれも継続審査となりました。

- ◇陳情第5号 核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書
- ◇陳情第6号 スケートボード練習場（アーバンスポーツ広場）の設置に関する陳情

意見書

議員提出議案として意見書1件を可決し、国・政府に提出しました。

- ◇女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

^{*}アンバサダー……「大使」や「代表」を指す言葉で、自治体などから任命されて広報活動などを行う人のこと
^{*}インボイス制度……消費税の仕入税額控除の新しい方式で、事業者が消費税の控除などを受けの際、「インボイス」と呼ばれる税率や税額を記した請求書が必要となる制度

委員会の審査から

議案や請願は、各委員会に付託され、慎重に審査されます。その経過と結果について、9月22日の本会議で各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

総務常任委員会

市長公室・危機管理防災課・企画財政部・総務部
会計課・消防・議会事務局・行政委員会事務局

〈令和3年度決算〉

委員 水害対策支援業務の概要は。

執行部 コロナ禍で2年続けて水害避難訓練が実施できなかった替わりとして、新菅北小学校にて職員による緊急避難場所の開設・運営訓練を実施した。

委員 緊急事態宣言などをを受けて休園となり、使用料収入が減少した公立保育園への国や県からの補助は。

執行部 国や県からの補助はなく、国からの通知に基づき、通常通りの運営費を支出した。

委員 国が発出する緊急事態宣言などにより休園となった以上、国からの補助を求めている。

委員 障害者雇用における採用後の定着に向けたハード面での取り組みは。

執行部 庁舎管理の担当課と連携しながら進めている。

委員 毎年度繰り返される財政調整基金の年度当初の取り崩しと年度末の積み立ては見直せないのか。

執行部 年度当初に基金の取り崩しを行わない場合、必要な財源を確保できず、さまざまな事業を削減する必要が出てくるため、現状は難しい。



新菅北小学校で行われた職員訓練の様子

文教・建設常任委員会

都市整備部・教育委員会事務局

〈令和3年度決算〉

委員 空き家バンクへの登録実績がない理由は。

執行部 管理不全の空き家の地権者に対し、適正管理に関する通知及び空き家バンク制度の周知をしているが、登録に至っていない。

委員 引き続き、制度の紹介など声掛けをしてほしい。

委員 小中学校の排水管清掃業務の内容や頻度は。

執行部 小中学校の汚水・雑排水管の清掃を年に1回実施している。小学校では年に4校、中学校では年に2校の実施となるため、各校3年に1回の実施となる。

委員 トイレは雑菌が多く、感染リスクが高い場所なので、各校とも年に1回の清掃を実施してほしい。

〈令和4年度補正予算〉

委員 小学校3校から12校に拡大する校内サポートルーム「ばれっとルーム」のこれまでの成果は。

執行部 これまで登校できなかった児童が少しずつ登校できるようになるなど、かなり効果が出ており、先生方からも好評である。



小学校全校に設置される「ばれっとルーム」

^{*}ばれっとルーム……教室に行きたくてもいけない児童などの学びをサポートするための場所